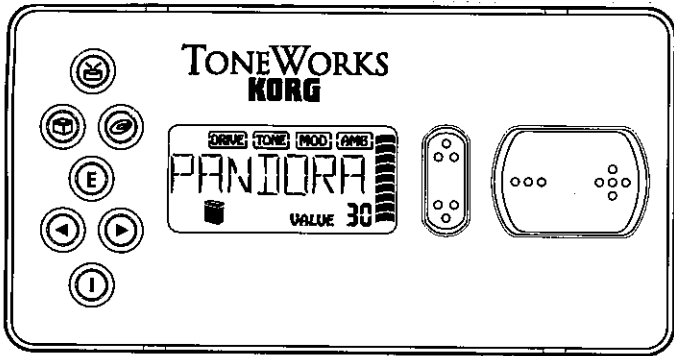




PANDORA

Personal Multi Effect Processor
PX2T

取扱説明書



TONEWORKS
GUITAR HYPERFORMANCE PRODUCTS
KORG

安全上のご注意

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

以下の指示を守ってください

警告



●本製品を使用する前に、以下の指示をよく読んでください。

●ACアダプターを使用する場合は、必ずAC100Vの電源コンセントにACアダプターを差し込んでください。

●次のような場合には直ちに電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから抜きます。そして、コルグ営業所またはお買い上げになった販売店に修理を依頼してください。

- ACアダプターの電源コードやプラグが破損したとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
- 製品が（雨などで）濡れたとき
- 製品に異常や故障が生じたとき



●次のような場所での使用や保存はしないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光のあたる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ホコリの多い場所



●修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ず最寄りのコルグ営業所またはコルグ営業技術課に相談してください。

●ACアダプターのコードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。コードに傷がつき危険です。

●本製品をヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快な程度の音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。



●本製品に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対にいれないでください。

●本製品およびACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。

注意



●本製品は正常な通気が妨げられることのない所に設置して、使用してください。

●本製品はマイクロコンピュータを使用した機器です。このため他の電気機器を接近して同時にご使用になりますと、それらに雑音が入ることがあります。逆に他の電気機器から本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。

●ACアダプターをご使用になる場合は、必ず指定のものをご使用ください。他のアダプターをご使用になりますと故障の原因となります。また、使用後はACアダプターをコンセントから抜いてください。

●ACアダプターは他の電気機器の電源コードといっしょにタコ足配線することは危険です。

●長期間使用しない場合は、電池の液漏れを防ぐために電池を抜いておいてください。



●スイッチやツマミに必要以上の力を加えますと故障の原因となりますので注意してください。

●外装のお手入れは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。ペンジンやシンナー系の液体は絶対にご使用にならないでください。（コンパウンド質、強酸性のポリッシャーも不可）。

●製品をお買い上げいただいた日より一年間は、保証期間となり、修理は無償となりますが、保証書に購入店での手続きがない場合は無効となります。保証書は必ずお求めになった販売店で所定の手続きを行った後、大切に保管してください。

●今後の参照のために、この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。



●ACアダプターをコンセントから抜くときは、絶対にコードを引っばらないでください。故障の原因となります。

はじめに

このたびは、**TONEWORKS Personal Multi Effect Processor PANDORA**をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

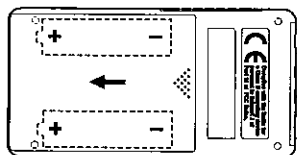
主な特長

PANDORAはコンパクトなサイズながら多機能なエフェクターです。

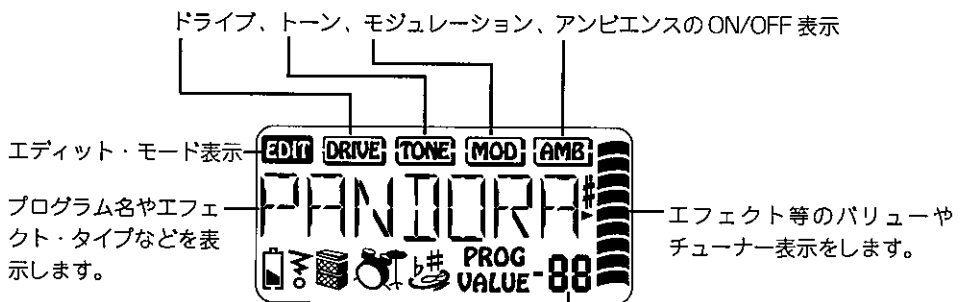
- 56タイプのエフェクト・バリエーション
- 38ユーザー・プログラム
- IPE(Integrated Parameter Edit)システム ----- 簡単に音色の変更ができます。
- FMステレオトランスミッタ内蔵 ----- FMラジオやFMチューナーで受信できます。
- チューナー機能 ----- すばやくチューニングできます。
- LEDによるLCDバックライト ----- 暗い所でも表示を見ることができます。
- リズム機能 ----- 32種類のリズムパターンまたはメトロノームが選べます。
- Aux Inエフェクト機能 ----- Aux In入力にピッチシフトやセンターキャンセルができます。
- キャビネットレゾネーター ----- 4種類のキャビネットのシミュレーションが選べます。

電池の入れ方

ケース裏側の電池カバーを矢印の方向にスライドしてはずします。単3形アルカリ乾電池（別売）2本を図のように入れます。向きを間違えないように注意してください。



LCDの表示



: バッテリー・エンプティ表示

: FMステレオトランスミッタON/OFF表示

: キャビネット・レゾネーター・タイプ及びON/OFF表示

: リズムのON/OFF表示

: Aux Inピッチシフター/センターキャンセラーのON/OFF表示

プログラム・ナンバー、バリューなどを表示します。
PROG: 数字表示部がプログラム・ナンバーのとき表示
VALUE: 数字表示部がバリューのとき表示


各部の名称

キャビネット・レゾネータ・ボタン (CR ボタン)

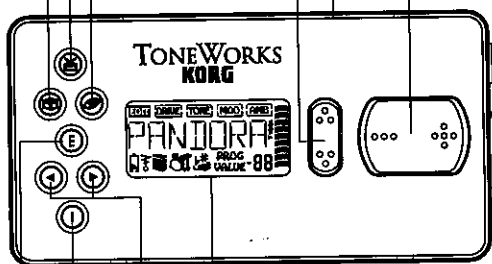
リズム・ボタン

AUX IN エフェクト・ボタン

△/▽ ボタン パラメータのエディットに使用します。

DC9V  ACアダプターを接続します。別売のA30960J
をご使用ください。(電池で使用する場合は不要です。)

+/- ボタン プログラムの選択とパラメータのエ
ディットに使用します。

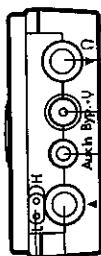


LED バックライト付 LCD
暗い所でご使用になる時に
点灯して下さい。

◀ ▶ ボタン
エディットするパラメータを選びます。

エンター・ボタン
エフェクト等の ON/OFF、ライト等に使用します。

エディット・ボタン
エディット・モードに入るときに使用します。



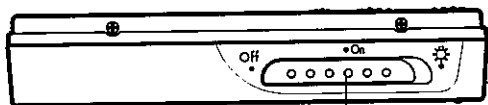
出力/ヘッドホンジャック

バイパス・ボタン
バイパスの ON/OFF に使用し
ます。長く押すとミュートに
なります。

Aux In
ヘッドホンステレオなどの
出力を接続します。

入力ジャック

入力レベル・スイッチ
ギター等の出力の大小に合わ
せて、H または L に切り替えて
使用します。

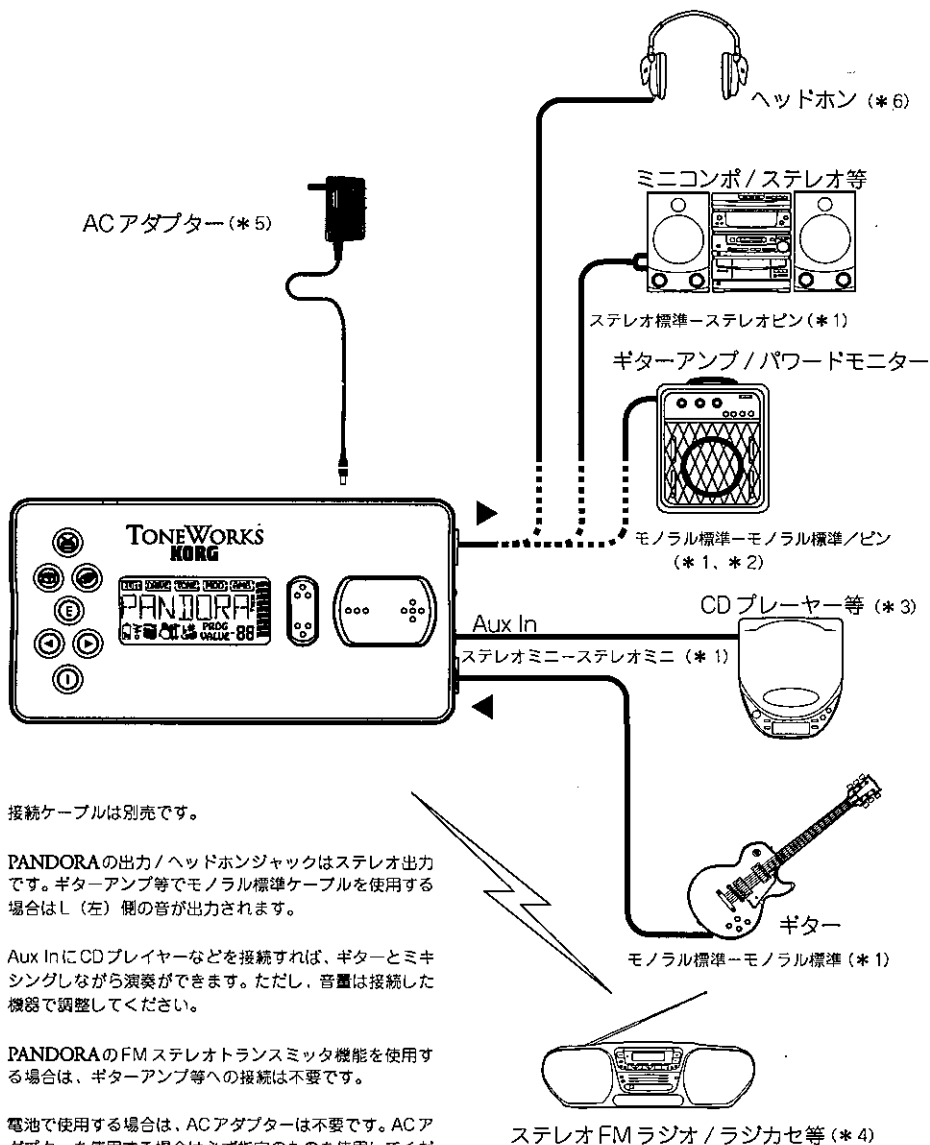


電池カバー

パワー・スイッチ/バックライト・スイッチ
電源の ON/OFF および LCD のバックライト ON/OFF に使用
します。電池で使用するときに長時間バックライトを ON で使用
すると動作時間が短くなります。

接続しよう

接続する機器の電源はOFFに、ボリュームは下げておいてください。



*1 接続ケーブルは別売です。

*2 PANDORAの出力/ヘッドホンジャックはステレオ出力です。ギターアンプ等でモノラル標準ケーブルを使用する場合はL(左)側の音が出力されます。

*3 Aux InにCDプレーヤーなどを接続すれば、ギターとミキシングしながら演奏ができます。ただし、音量は接続した機器で調整してください。

*4 PANDORAのFMステレオトランスミッタ機能を使用する場合は、ギターアンプ等への接続は不要です。

*5 電池で使用する場合は、ACアダプターは不要です。ACアダプターを使用する場合は必ず指定のものを使用してください。極性DC9V ⊕ ⊖ (別売 A30960J)

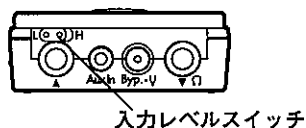
*6 お使いになるヘッドホンによっては、PANDORAの音質、音質が多少異なって聞こえることがあります。PANDORAのサウンドを十分にお楽しみいただくために、なるべく性能の良いヘッドホンをお使い下さい。(インピーダンス 32 Ω以下で出力音圧レベルが 100dB/mW以上のヘッドホンをお奨めします。)

音を出してみよう

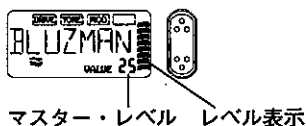
1. FMトランスミッタを使わない場合



- 1) 接続を終えたら、パワー・スイッチを"ON"にします。(この状態をプレイ・モードと呼びます。)
+/- ボタンでプログラムを選びます。音量のチェックに向けたクリーン系のプログラムを選びます。(ここでは例としてProgram6"BLUZMAN"を選びます。)

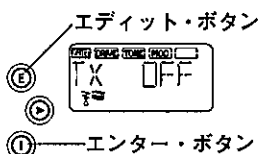


- 2) 使用するギターの出力の大きさに合わせて入力レベルスイッチを選んでください。
H：出力レベルの大きいギターまたは、ベース等 (ハムバッキングピックアップ)
L：出力レベルの小さいギター等 (シングルコイルピックアップ)

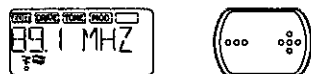


- 3) ギターのボリュームを通常演奏する程度に合わせて弾いてみます。
△ または ▽ ボタンを押すとマスター・レベルが表示されます。
さらに △/▽ ボタンを押すとマスター・レベルが調整できます。

2. FMトランスミッタを使う場合 (FMトランスミッタの使い方)



- 1) プレイ・モードの時エディット・ボタンを押します。(この状態をエディット・モードと呼びます。)
▶ ボタンを何度か押してトランスミッタの表示が点滅している画面を選びます。エンター・ボタンを押してトランスミッタをオンにします。
LCDに"TX ON"と表示されそのあと周波数表示になります。



- 2) +/- ボタンを押して周波数を 89.1MHz にします。ギターを弾きながらラジオの周波数を合わせます。
- 3) エディット・ボタンを押してプレイ・モードに戻します。



FMトランスミッタは、FMラジオと同じ部屋の中で、3m以内の範囲でお使いください。また、放送局の周波数からできるだけ離れた周波数を選んでください。選んだ周波数や環境によって、出力音に「ピー」という音が出ることがあります。このような場合は周波数を変えてお使いください。

プログラムの設定、FMラジオによっては、ラジオの出力が歪む場合があります。このような場合は、マスターレベルやエフェクトのプログラムレベルを歪まなくなるまで下げてください。FMトランスミッタを使わない場合は、FMトランスミッタのオン/オフをオフ("TX OFF")にしてお使いください。

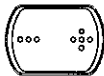
プレイ・モード

プレイ・モードは通常の演奏を行なうモードです。

1. プログラム・チェンジ



プログラム・ナンバー



38個のユーザー・プログラムから選ぶことができます。
+/- ボタンを押して、プログラムを選びます。

2. マスター・レベル



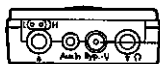
マスター・レベル



△/▽ ボタンを押すと現在のマスター・レベルの値が数字とバーグラフで表示されます。

さらに △/▽ ボタンを押すとマスター・レベルの変更ができます。マスター・レベルは変更した時点で記憶され、電源をオフにしても記憶しています。

3. バイパス/ミュート



バイパス・ボタン

チェーン表示

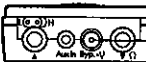


バイパス・ボタンを押すとLCD内のチェーン表示が遅い点滅になり、エフェクトのかからない音が出力されます。

バイパス・ボタンを1秒以上押したままにするとチェーン表示が速い点滅になり、出力がミュートされ音が出なくなります。

もう一度バイパス・ボタンを押すとバイパス/ミュートが解除されます。

4. チューナー



バイパス・ボタン

表示バー



センターマーク

プレイ・モードでバイパスまたはミュートにします。

英文字と数字の表示が消えて、チューナーが動作します。

ギターを弾いてください。

右はじに音名、横にメーター、左はじに基準ピッチAの周波数が表示されます。センターマークに向かってチューニングしてください。シャープは音名の右上にです。

表示バーと、センターマークが一致するようにチューニングをしてください。

△/▽ ボタンを押すと、キャリブレーション（基準ピッチAの周波数）の値をA=438 から 445Hzの範囲で変更できます。ここでの変更は電源を切ると無効となり、再び電源を入れるとA=440Hzが選ばれます。



リズムがオンの時はチューナーは動作しません。

プログラムを選び直すとバイパス/ミュート、チューナーは解除されます。

5. キャビネットレゾネーター (CR)

CRは4種類のギターアンプのキャビネットの音響特性をシミュレートします。CR ボタンを押すことでエディット・モードのキャビネットレゾネーター・エディットを行うことができます。



- エンター・ボタン：エフェクトのオン/オフ
(表示は "FX ON" または "FX OFF")

- +/− ボタン：アンプ・タイプ

- △/▽ ボタン：アンプの特徴 (レゾナンスの強さ)
アンプタイプに合わせてLCDのキャラクタも変化します。

6. リズム

リズム・ボタンを押すとリズムのオン/オフができます。バーグラフ表示がパターンやテンポに合わせて変化します。リズムオンの時に次の操作をする事で、パラメータの変更ができます。またリズムがなっているときでも、+/- ボタンでエフェクトプログラムの変更をすることができます。



- △/▽ ボタン：パターンの変更 (32+メトロノーム)

テンポの変更 (40~208)

レベルの変更 (0~30)

- ◀ ▶ ボタン：パラメーターの切り替え



7. Aux In エフェクト

Aux Inエフェクトボタンを押すと、Aux Inに接続されたCD やカセットテープの音にピッチシフト (PS) をかけたり、センターに定位したギターやボーカルの音をカット (CC) したりできます。

- エンター・ボタン：PS 及び、CC のオン/オフ

- +/− ボタン：エフェクトプログラムの変更

- △/▽ ボタン：ピッチシフトの変更

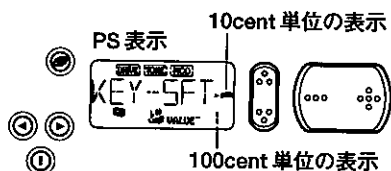
- ◀ ▶ ボタン：PS と CC の表示切り替え

PSのキーの可変幅は±1オクターブです。

ピッチを上げる方は上3半音まで10cent刻みで、それ以上は100cent刻みです。

ピッチを下げる方は下1半音まで10cent刻みで、それ以上は100cent刻みです。

PSがオフの時、VALUE表示がーになりCCもオフならばAux Inの音がステレオで出力されます。



▲ PS及び、CC機能を使っているときはAux Inの出力は、モノラル音となります。また、PS及び、CC動作中に、リズムをオンにした場合PS及び、CC動作は自動的にオフになります。PS機能をオンにするとAMB (アンビエンス) がオンのプログラムはAMBが自動的にオフになります。

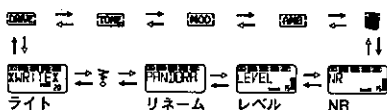
CC機能は入力ソースによっては十分に効果が現れない場合 (モノラル録音、特殊効果録音等) があります。

エディット・モード

エディット・ボタンを押してください。各エフェクトのオン/オフおよびタイプ、バリュー、キャビネットレゾネーター、FMトランスミッタ等のエディットを行うことができます。

▲ エディット・モードではバイパス、ミュートにすることができますが、このときはエディットできません。バイパス、ミュートを解除してからエディットを行ってください。

1. エディット・パラメータの選択



◀ ▶ ボタンでエディットするパラメータを選択してください。

◀ ▶ ボタンを押すごとに左図の順に選ぶことができます。現在選ばれているパラメータは表示が点滅します。オフになっているときパラメータはエディットできません。オフになっているエフェクトをエディットするときは、◀ ▶ ボタンで選んでからエンターキーを押してエフェクトをオンにします。

2. エフェクト・パラメータ・エディット

ドライブ、トーン、モジュレーション、アンピエンスのエフェクト・タイプ(エフェクトの種類)を選んだり、バリューを変えることによりエフェクタのかかり具合を変更します。選べるエフェクトの種類や変えられるバリューの意味は、エフェクト・パラメータの表を参照してください。

ドライブ (DRIVE)



1) ドライブ (DRIVE) : コンプレッサー、オーバードライブ、ディストーションなどの、主にギターの音色を加工するエフェクトです。

- エンター・ボタン : エフェクトのオン/オフ (表示は "FX ON" または "FX OFF")
- +/− ボタン : エフェクト・タイプの切り替え
- △/▽ ボタン : バリュー (エフェクトのかかり具合)

トーン (TONE)



2) トーン (TONE) : ギター等音質の調整をします。

- エンター・ボタン : エフェクトのオン/オフ (表示は "FX ON" または "FX OFF")
- +/− ボタン : Hiのバリュー (高音域の音質)
- △/▽ ボタン : Lowのバリュー (低音域の音質)

モジュレーション (MOD)



3) モジュレーション (MOD) : コーラス、フランジャー、フェイザーなどの変調系のエフェクトです。


- エンター・ボタン : エフェクトのオン/オフ (表示は "FX ON" または "FX OFF")
- +/− ボタン : エフェクト・タイプの切り替え
- △/▽ ボタン : バリュー (エフェクトのかかり具合)

アンビエンス (AMB)



4) アンビエンス (AMB) : ディレイ、エコー、リバーブなどの残響系のエフェクトとピッチシフターです。

- エンター・ボタン : エフェクトのオン/オフ (表示は "FX ON" または "FX OFF")
- + / - ボタン : エフェクト・タイプの切り替え
- Δ / ▽ ボタン : バリュウ (エフェクトのかかり具合)

 アンビエンス (AMB) の ROOM、HALL、PITCH とモジュレーション (MOD) のエフェクトは同時には使えません。例えばアンビエンス (AMB) で ROOM、HALL、PITCH がオンになっているとき、モジュレーション (MOD) のエフェクトをオンにするとアンビエンス (AMB) のエフェクトが自動的にオフになります。

3. キャビネット・レゾネータ (CR) CR ボタンで選んだ状態と同じ様にエディットできます。



- エンター・ボタン : エフェクトのオン/オフ (表示は "FX ON" または "FX OFF")
 - + / - ボタン : アンブ・タイプ
 - Δ / ▽ ボタン : レゾナンスの強さ
- アンブタイプに合わせてLCDのキャラクタも変化します。

4. NR (ノイズ・リダクション)



ノイズ・リダクションの効果の強さを選びます。バリュウを上げるほどノイズを抑える効果は強くなります。通常はギターの弦を軽くミュートしたときノイズが気にならないレベルまで値を上げます。


- Δ / ▽ ボタン : NR のバリュウ (かかり具合)

5. レベル

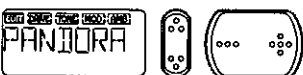


各プログラムのレベルを設定します。DRIVE、TONE の設定によっては出力音が歪んで (クリップ) しまう場合がありますので、このレベル変更で歪まない程度に調整してください。

- Δ / ▽ ボタン : レベルのバリュウ

 ご使用になるギターによって各プログラムの音量が変化します。ご自分のギターに合わせてレベルを選んでください。

6. リネーム



プログラムの名称 (7文字) を変更できます。

- + / - ボタン : 変更箇所への移動
- Δ / ▽ ボタン : 文字の変更

使える文字記号は空白、0~9、A~Z、"、'、*、+、-、/ です。

7. FM トランスミッタ



FMトランスミッタのオン/オフおよび周波数を選びます。送信周波数は88.1MHzから89.9MHzまで、0.2MHz刻みで10種類選べます。

- エンター・ボタン：トランスミッタのオン/オフ (表示は "TX ON" または "TX OFF")

- + / - ボタン：周波数の変更

オン/オフ、周波数は選んだ時点で記憶し、電源をオフにしても記憶されています。

8. ライト



エンター・ボタンを押すと、エディットしたプログラムが書き込まれます。書き込みがおこなわれると"COMPLT"が約1秒間表示されます。書き込まない時は、◀ ▶ ボタンを押して、他のパラメータ画面を選ぶとキャンセルされます。エディットしたプログラムを他のプログラムと入れ替える事もできます。

- エンター・ボタン：書き込み


- △ / ▽ ボタン：プログラムナンバーの選択

その他

バッテリー・エンプティ表示



電池容量が少なくなると、バッテリー・エンプティ表示が出てバッテリーの中身の表示が点滅します。表示が出たらなるべく早く電池を交換してください。バッテリー・エンプティ表示が出ても約20分は使用できます。また電池を抜いたままにしても、プログラム等は消えません。


 使えなくなった電池はすぐにPANDORAからはずしてください。そのままにしておくと電池の液漏れでPANDORAを壊すことがあります。

プリセット・プログラム (工場出荷時のプログラム) の再ロードのしかた



リズム・ボタンとエンター・ボタンを押しながら電源をオンしてください。"RELOAD?"と表示がでます。

+ ボタンを押すとプリセットプログラムがリロードされ (表示が "RELOAD" になります)、しばらくすると電源オン時の画面になります。▽ ボタンを押すとリロードされずにそのままプログラムが起動します。

 プリセット・プログラムをリロードするとそれまでのプログラムは全て書き替わりますのでご注意ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まず以下のことを確認してください。症状が改善されない場合は、お近くの販売店またはコルグ営業技術課までお問い合わせください。

1. 電源がはいらぬ。

*電池が入っていますか？

または、コンセントにACアダプターが接続されていますか？

2. 音が出ない。

*ギター、アンプ、ヘッドホンはそれぞれの端子に正しく接続されていますか？

*アンプの電源がオンになっていて正しく設定されていますか？

*接続コードは断線していませんか？

●ヘッドホンを接続して音が出れば、PANDORAより後の接続に問題があります。

*マスター・レベルの値が"0"または小さい値になっていませんか？

*レベル（プログラム毎）のバリューが"0"または小さい値になっていませんか？

*ミュート（チェーン表示が速い点滅）になっていませんか？

●すべてのエフェクトがオフのときはチェーン表示が消えてしまい、LCDの表示からはバイパスとミュートの区別ができないのでご注意ください。

*ギターのボリュームで音をしばっていませんか？

3. FMトランスミッターを使用した場合で、音が出ない、音がきかない。

*PANDORAのFMトランスミッターがオンになっていますか？

*PANDORAとFMラジオ／FMチューナーの周波数が合っていますか？

*PANDORAとFMラジオ／FMチューナーのアンテナとの距離は3m以内ですか？

*FMラジオ／チューナーの電源がオンになって正しく動作していますか？

●プログラムの設定によって出力音が歪む場合があります。

（マスターレベル、レベルを調整してください。）

4. Aux In に接続した機器の音量が大きい（または小さい）

●接続した機器の出力レベルを調整してください。

●ミキシングしたい機器のヘッドホン端子から接続してください。

5. エフェクトがかからない。

*バイパス（チェーン表示が遅い点滅）になっていませんか？

*プログラムで使うエフェクトがオンになっていますか？

6. チューナーが動作しない。

*エディット・モードでバイパスまたはミュートになっていますか？

●プレイ・モードでバイパスまたはミュートにしてください。

エフェクト・パラメータ

		TYPE (+、 - ボタン)	VALUE (△、▽ボタン)	
DRIVE	COMP	コンプレッサー	コンプレッサー効果の強さの設定 ドライブ量の設定	
	CRUNCH	マイルドなオーバードライブ		
	SCREAM	エッジのきいたオーバードライブ		
	TUBE	ビンテージタイプのオーバードライブ		
	HOTBOX	ミッドレンジに多くの倍音をもつディストーション		
	HIGAIN	ハイゲインタイプのディストーション		
	VALVE	ビンテージタイプのハイゲインディストーション		
	CRUSH	スムーズでのびのあるディストーション		
SCQOP	ドンシャリ風のディストーション			
TONE	HI (高域) イコライザのゲインの設定		LOW (低域) イコライザのゲインの設定	
MOD	CHORUS1	LFOが三角波のコラス	変調のスピードの設定	
	CHORUS2	LFOがサイン波のコラス		
	CHORUS3	エフェクト音が左に、ダイレクト音が右に出力されるコラス		
	CHORUS4	ダブリングコラス		
	FLANGE1/2/3	フランジャー (FLANGE1,2,3 でそれぞれフィードバック量が異なります)		
	FLANGE4	フィードバックが逆相のフランジャー		
	VIB	音程が周期的に変わるビブラート	変調の深さの設定	
	DLYVIB 1/2/3	ロングトーンを弾いたときに効果が遅れてかかるディレイ・ビブラート (1,2,3 でそれぞれビブラートがスタートするまでの時間が変わります)		
	PHASER1	ビンテージタイプのフェイザー		
	PHASER2	ピークが強めのフェイザー		
	PHASER3	PHASER1のフィードバックを逆相にしたもの		
	PHASER4	PHASER2のフィードバックを逆相にしたもの		
	TREM1	浅めのトレモロ (LFO=∪)	変調のスピードの設定	
	TREM2	深めのトレモロ (LFO=∩)		
	TREM3	浅めのトレモロ (LFO=∟)		
	TREM4	深めのトレモロ (LFO=∟)		
	PAN1	オートパン (LFO=∪)		
	PAN2	オートパン (LFO=∟)		
	AWAH1	アタックの速いオートワウ		
	AWAH2	アタックの遅いオートワウ		
AWAH3	フィルターが逆方向に動くアタックの速いオートワウ	オートワウの感度の設定		
AWAH4	フィルターが逆方向に動くアタックの遅いオートワウ			
WAH	ペダルを固定したタイプのワウ・ワウ	固定する周波数の設定		
RANDOM 1/2/3/4	フィルターがランダムに動くランダムステップフィルター RANDOM1,2,3,4でフィルターの高域帯域が変わります	変調のスピードの設定		
AMB	DELAY1	ステレオで再生すると左右に広がるアンビエント・ディレイ	エフェクトレベルの設定	
	DELAY2	ダブリング・ディレイ		
	DELAY3	ショート・ディレイ		
	DELAY4	ミディアム・ディレイ		
	DELAY5	ミディアムロング・ディレイ		
	DELAY6	ロング・ディレイ		
	ECHO1	フィードバックのあるショート・ディレイ		
	ECHO2	フィードバックのあるミディアム・ディレイ		
	ECHO3	フィードバックのあるミディアムロング・ディレイ		
	ECHO4	フィードバックのあるロング・ディレイ		
	ECHO5	ピンポン・ディレイ1		
	ECHO6	ピンポン・ディレイ2		
	ROOM	ルームタイプのリバーブ		
	HALL	ホールタイプのリバーブ		
	PITCH1/2/3	ピッチ・シフター (1,2,3でそれぞれエフェクト音のレベルが変わります。)		ピッチシフトの変化幅の設定
	PITCH4	エフェクト音とドライ音が左右に分かれるピッチシフター		
PITCH5/6/7/8	PITCH1-4にステレオ・ディレイをかけたタイプ			
CABINET RESONATOR	COMBO 1	中高域に共振ポイントのある中型コンボアンプ・シミュレーション	レゾナンスの強さの設定	
	STACK 1	ドンシャリ系的大型スタックアンプ・シミュレーション		
	COMBO 2	中低域に共振ポイントのある中型コンボアンプ・シミュレーション		
	STACK 2	中域に共振ポイントのある大型スタックアンプ・シミュレーション		

プリセット・プログラム・パラメータ・リスト

No.	プログラム名	DRIVE	Value	TONE	MOD	Value	AMB	Value	CR	Value	NR	Level
1	AIR	COMP	15	Low 5 Hi 5	CHORUS1	15	ECHO6	20	OFF		8	20
2	TREMOR	COMP	5	Low 7 Hi 7	TREM2	20	OFF		OFF		8	20
3	FUNKY	COMP	14	Low 10 Hi 8	AWAH2	13	ECHO1	20	STACK1	5	8	24
4	MURKY	COMP	1	Low -3 Hi 0	PHASER1	4	DELAY1	15	STACK1	5	8	28
5	OASIS	SCREAM	17	Low 5 Hi 6	OFF		ROOM	14	COMBO1	1	14	25
6	BLUZMAN	CRUNCH	10	Low 12 Hi 9	CHORUS4	4	OFF		COMBO1	1	14	21
7	AMBIOD	CRUNCH	22	Low 6 Hi 9	OFF		ROOM	16	STACK1	5	14	20
8	HONEY	SCREAM	23	Low 7 Hi 10	OFF		DELAY1	18	COMBO1	1	14	23
9	BUSH	VALVE	10	Low 9 Hi 12	CHORUS4	2	ECHO2	14	COMBO1	1	14	18
10	GARDEN	VALVE	20	Low 5 Hi 15	OFF		DELAY1	26	STACK1	5	18	18
11	MAD MAN	HIGAIN	30	Low 15 Hi 14	OFF		ROOM	14	STACK1	5	18	20
12	FILTH	SCOOP	30	Low 9 Hi 7	OFF		DELAY1	25	COMBO1	1	18	20
13	STP MOD	VALVE	7	Low 4 Hi 8	VIB	19	DELAY2	23	STACK1	5	14	18
14	HAMSTER	TUBE	17	Low 12 Hi 9	CHORUS3	28	DELAY3	22	COMBO1	5	14	20
15	REDHOUS	SCREAM	20	Low 11 Hi 7	OFF		DELAY3	30	STACK2	5	14	18
16	PILOTS	VALVE	17	Low 4 Hi 8	CHORUS1	6	DELAY1	30	STACK1	5	14	14
17	MONSTA	CRUSH	30	Low 3 Hi 2	OFF		PITCH7	-5	STACK2	5	18	17
18	GARGLE	HOTBOX	30	Low 2 Hi 3	PHASER3	18	ECHO3	20	COMBO1	1	18	16
19	RANDOM	SCREAM	30	Low 9 Hi 12	RANDOM2	1	ECHO2	16	COMBO1	1	14	18
20	EDGE	COMP	10	Low 10 Hi 11	DLYVIB2	9	ECHO6	29	OFF		8	18
21	CHUNKY	COMP	13	Low 10 Hi 2	CHORUS4	13	DELAY1	30	OFF		8	14
22	RASTA	COMP	20	OFF	OFF		ECHO1	25	OFF		8	20
23	TWANG	COMP	12	Low 0 Hi 5	OFF		ROOM	17	OFF		8	20
24	RUSH	COMP	16	Low 13 Hi 10	CHORUS4	20	DELAY3	20	OFF		8	18
25	PLEXI	SCREAM	9	Low 13 Hi 8	OFF		ROOM	14	STACK1	5	14	21
26	SOULMAN	CRUNCH	16	Low 3 Hi 3	CHORUS3	1	DELAY1	24	COMBO1	1	14	16
27	MR-SG	TUBE	29	Low 8 Hi 7	OFF		HALL	8	STACK1	5	14	20
28	ZOSO	CRUNCH	30	Low 5 Hi 3	OFF		ECHO2	17	COMBO1	1	14	20
29	PUMPKIN	HOTBOX	21	Low 11 Hi 5	OFF		DELAY1	27	COMBO1	1	18	15
30	BURN	CRUSH	30	Low 4 Hi 3	OFF		ECHO3	15	COMBO1	1	18	20
31	SLANG	HIGAIN	30	Low 15 Hi 5	OFF		DELAY1	27	COMBO1	1	18	18
32	LOAD	CRUSH	30	Low 13 Hi 8	OFF		DELAY1	20	STACK1	5	18	20
33	TATOO	HOTBOX	28	Low 7 Hi -2	CHORUS1	5	ECHO3	26	STACK2	5	18	16
34	SATCH	CRUSH	30	Low 6 Hi 0	AWAH1	9	DELAY4	20	COMBO2	5	18	24
35	SESSION	SCREAM	30	Low 5 Hi 12	CHORUS4	6	DELAY5	18	STACK1	5	14	15
36	VIKING	HOTBOX	30	Low 15 Hi 10	OFF		ECHO6	20	STACK1	5	18	16
37	VIOLIN	VALVE	20	Low 5 Hi 2	OFF		ECHO3	30	COMBO2	5	14	18
38	SPHERE	COMP	12	Low 0 Hi 5	PAN2	24	ECHO5	23	OFF		8	18

リズム・パターン・リスト

ナンバー	リズム・パターン名	ナンバー	リズム・パターン名
—	METRONM	17	FUNK
1	8BEAT1	18	JAZZ1
2	8BEAT2	19	JAZZ2
3	8BEAT3	20	BLUES
4	8BEAT4	21	MOTOWN
5	8SHUFL	22	SURF
6	16BEAT1	23	COUNTRY
7	16BEAT2	24	BOSSA
8	16BEAT3	25	SAMBA
9	16BEAT4	26	BEGUINE
10	16SHUFL	27	ZOSO
11	3/4	28	WALK
12	3/4SHFL	29	THRASH
13	6/8BAL	30	ROSANNA
14	EURO	31	TAKE5
15	DANCE1	32	ONDO
16	DANCE2		

Personal Multi Effect Processor **PANDORA PX2T**仕様

プログラム数：38

入力：ギター・インプット（標準ジャック）
AUX IN（ミニ・ステレオ・ジャック）

出力：ライン/ヘッドホン兼用アウトプット（標準ステレオ・ジャック）

最大出力レベル：2.6 dBu 10K Ω 負荷 / 12mW+12mW 32 Ω 負荷

チューナー部測定範囲：27.5Hz～2093Hz(A0～C7)

メトロノーム部テンポ：♩=40～208

FMトランスミッター部送信周波数：88.1MHz～89.9MHz（0.2MHz ステップ）

電源：アルカリ単3乾電池 2本

連続約11時間使用可能（FMトランスミッターOFF、ヘッドホン使用、バックライトOFF）

連続約8時間使用可能（FMトランスミッターON、ヘッドホン使用なし、バックライトOFF）

または別売ACアダプター（コルグA30960J）

外形寸法：126.6mm X 23.7mm X 66.0mm（W X H X D;突起部を含まず）

重量：175g（乾電池を含む）

付属品：取扱説明書、保証書

オプション：専用ホルダー、ACアダプター(A30960J)

外観及び仕様は改良のため予告なく変更する事がありますのでご了承ください。

アフターサービス

- 製品をお買い上げいただいた日より一年間は保証期間です。万一保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は無償修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。ただし次の場合の修理は有償となります。
 - ・消耗部品(電池など)を交換する場合。
 - ・輸送時の落下、衝撃などお客様の取扱方法が不適当のため生じた故障。
 - ・天災(火災等)によって生じた故障。
 - ・故障の原因が本製品以外の他の機種にある場合。
 - ・コルグ営業技術課及びコルグ指定者以外の手で修理、改造された部分の処理が不適当であった場合。
 - ・保証書に販売店名、お客様氏名、ご住所、お買い上げ日等が記入されていない場合。
 - ・保証期間が切れている場合。
 - ・日本国外で使用される場合。
- 当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても3カ月以内に限り無償修理いたします。また仕様変更に関しては有償になりますのでご了承ください。
- お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証書は引き続きお使いいただけます。移転先のコルグ製品取扱店、またはコルグ・インフォメーションまでお問い合わせください。
- 保証期間が切れますと、修理は有償になりますが、引き続き製品の修理は責任をもってさせていただきます。修理用性能部品(電子回路など)は通常8年を基準に保有しております。ただし外装部品(パネル、スイッチなど)の修理は類似の代替品を使用することもありますのでご了承ください。
- その他、アフターサービスについてご不明の点は下記へお問い合わせください。

▼▲▲▲▲▲▼株式会社コルグ▼▲▲▲▲▲▼

インフォメーション	〒168 東京都杉並区下高井戸1-15-12	☎ (03) 5376-5022
東京営業所	〒168 東京都杉並区下高井戸1-11-17	☎ (03) 3323-5241
名古屋営業所	〒466 名古屋市昭和区八事本町100-51	☎ (052) 832-1419
大阪営業所	〒531 大阪市北区豊崎3-2-1淀川5番館7F	☎ (06) 374-0691
福岡営業所	〒810 福岡市中央区白金1-3-25第2池田ビル1F	☎ (092) 531-0166

- 修理等のお問い合わせは最寄りの各営業所、または下記までお問い合わせください。

営業技術課	〒168 東京都杉並区下高井戸1-15-12	☎ (03) 3309-7004
-------	------------------------	------------------

<WARNING!>

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

(この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です。)

KORG
株式会社コルグ

- 本社: 〒168 東京都杉並区下高井戸1-15-12 ☎ (03) 3325-5691
- インフォメーション: 〒168 東京都杉並区下高井戸1-15-12 ☎ (03) 5376-5022
- 東京営業所: 〒168 東京都杉並区下高井戸1-11-17 ☎ (03) 3323-5241
- 名古屋営業所/ヨールム/メジタ: 〒466 名古屋市昭和区八事本町100-51 ☎ (052) 832-1419
- 大阪営業所: 〒531 大阪市北区豊崎3-2-1淀川5番館7F ☎ (06) 374-0691
- 福岡営業所: 〒810 福岡市中央区白金1-3-25第2池田ビル1F ☎ (092) 531-0166